

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
三菱UFJリース株式会社  
取締役社長 柳井隆博  
(コード番号 8593 東証・名証第1部)  
お問合せ先  
コーポレートコミュニケーション部長 村上 圭  
TEL 03-6865-3002

## **「攻めのIT経営実現」へ向け国内リース業界で初めてCMMIレベル3を達成**

当社は、「攻めのIT経営実現」を目標に、その基盤となる情報システム部の体制強化を推進して参りました。今般、その一環としてソフトウェア開発プロセスにおける能力成熟度モデルの国際的な指標である「CMMI (Capability Maturity Model Integration) (※1) のレベル3」を国内リース業界 (※2) で初めて達成しましたのでお知らせします。

2017年度よりスタートした当社の**新中期経営計画**では、経営基盤強化戦略として、「IoT/AIやロボティクス等のデジタル施策」、「働き方改革の推進」を掲げております。当社がCMMIレベル3の取得で培ったノウハウを、同施策の推進に適用することで、事務効率化・労働生産性の向上等を目指してまいります。また、今後は国内外グループ会社にもノウハウを展開し、当社グループ全体ベースでのITガバナンスの強化、品質向上にも役立てていく予定です。

当社といたしましては、本レベル取得を機に、今後さらなる情報システム部の体制強化を進め、一層のIT経営の強化を目指すことで、新中期経営計画で定める成長戦略を着実に実行し、企業価値の向上を目指して参ります。

### ※1 CMMI (Capability Maturity Model Integration)

2001年に米国カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所で開発されたソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデル。成熟度は5段階のレベルで表現され、レベル3は、組織全体でソフトウェアの開発方針、ガイドライン、手順が確立されていて、安定的に一定水準の品質のソフトウェアが開発できる状態を示す。

参考：CMMI Institute ウェブサイト  
<https://sas.cmmiinstitute.com/pars/pars.aspx>

※2 上記ウェブサイト「CMMI Institute Published Appraisal Results」に掲載されている日本企業をベースにしたもの。

以上